

白神通信

第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議を開催しました。

12月14日(金)に八峰町文化交流センター「ファガス」で今年度第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議を開催しました。この巡視員会議は、巡視活動の効果的な実施と、関係者間の情報共有が図れるよう年2回開催しており、今回の会議では白神山地世界遺産地域連絡会議の構成機関、関係市町村、白神山地世界遺産巡視員の合計38名が出席しました。

地域連絡会議を代表して東北森林管理局計画保全部長より、巡視活動を無事に終了できたことへの感謝、ニホンジカの日撃情報、岩手県早池峰山のニホンジカ対策への取り組み、「遺産地域を良好な状態のまま後世に引き継いでいくためには、地道な巡視活動がますます重要。日頃の巡視活動でお気づきになったことは、幅広く情報提供をお願いします」との挨拶がありました。

議事に入り、(1)平成30年度の主な事業の事業実績(2)巡視員による巡視活動の状況(3)合同パトロールの実施結果(4)核心地域への入山状況(5)樹木の損傷等の状況(6)ニホンジカの確認情報(7)その他(ニッ森登山道刈り払い実施報告)について担当者から報告があり、質疑応答を行いました。

主な質問として、枯木を切ってもマナー違反になるのか。シカの対策として例年通りセンサーカメラによる観察だけではなく、もっとなにか具体的な取り組みをして欲しい。目撃情報が少なくなったのは、珍しくないということで認識されている現れではないか。ニホンジカにだけクローズアップされているが、他に外来種などは写っているのか。等と質問がありました。

返答として、枯木を切ってもマナー違反になるのかについては、現状のまま推移していくこととなっているの

で、例えば枯木でも手を加えるとマナー違反になるとのことでした。シカの対策や目撃情報については、「今年度センサーカメラで幼獣が撮影されている。越冬地をたたくのが1番効果的なので、まずは幹事会で情報共有し、なにをやっていくか話し合いたい」とのことでした。シカの他に外来種が写っているのかについては、ハクビシンが写っていたとのことでした。今年度の活動は終了しましたが、来年度も引き続き普及・啓発に取り組んで参ります。



会議中の様子



巡視員からの発言の様子

平成30年度 中・大型哺乳類調査結果

昨年4月より開始したセンサーカメラによる哺乳類調査は、積雪前の11月末までに合計30台全て撤去し終えてデータの取りまとめも終了しました。調査報告書は近々当センターHPに掲載しますので、興味のある方はご覧下さい。30台のカメラで撮影された画像は、合計29,967枚。膨大な写真データを一枚一枚チェックしたところ、哺乳類は全調査地点合わせて13種類2,832個体が写り込んでいました。

今年度の調査結果で特筆すべき点は、ハクビシンの多さです。確認した哺乳類で最も個体数が多かった種はタヌキの655頭でしたが、次に多かったのがハクビシンで、25箇所から合計342頭も撮影されました。“重点対策外来種”のハクビシンは雑食性なのでタヌキやキツネと餌資源で競合しそうですし、木登りが得意なのでテンとも生息環境が重なります。今後これらの中型哺乳類の個体数の増減には、特に留意して定量データを蓄積していきます。

ニホンジカ(以下、シカ)に関しては各種報道の通り、青森・秋田両県ともに昨年度より確認数が少なく、当センターの調査では合計8頭が撮影されました。そのうち1頭が性別不明、残り7頭は全てオスでした。環境省や県の調査でも未だメスは撮影されておらず、現段階ではシカは白神山地周辺に定着はしていない様子です。

今回の調査で特に大きな成果は、環境省で設置したカメラと当センターのカメラにより、シカの若齢オスを画像から個体識別して約20kmにわたり行動を追跡できた事です。8月21日：藤里町 大滝林道→8月22日：八峰町 水沢山ブナの森公園→8月26日：八峰町 小入川地区…と、山から海辺へ移動したことが判明しました。西目屋自然保護官事務所より『大滝くん』と命名されたこのシカ、その後の消息は不明です。今年度は越冬場所の解明に向けて冬期間も小入川地区にカメラを3台設置していますが、未だシカは撮影されていません。

小入川地区では、4～5月と10～12月にシカ捕獲用の小型囲いわなも稼働させましたが、こちらも捕獲されないまま終了しました。近くに小沢が流れていて水場があり、積雪量が少なく春先の芽吹きも早く、周囲はスギ林で風も防げるため、越冬場所には最適だと思うのですが…なかなか事はうまく運ばないようです。

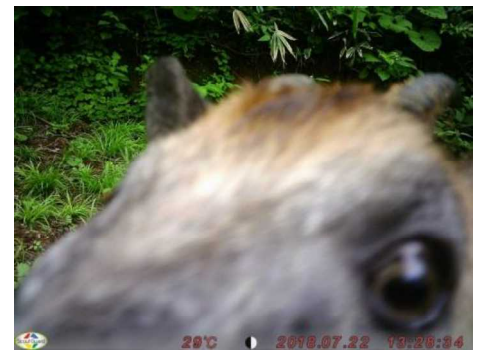
来年度も環境省や県と小まめな情報共有を図りながら、中・大型哺乳類調査を継続していきます。最後に、今年度センサーカメラを覗き込んできた、好奇心旺盛な動物達をご紹介します。来月からまた、彼らとの付き合いが始まります。(有本)



ツキノワグマ



ニホンザル



カモシカ

藤里森林生態系保全センターの活動

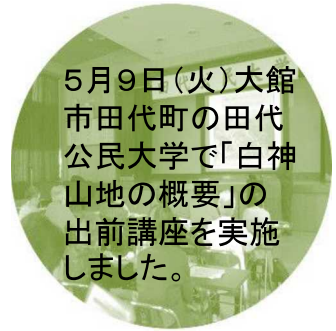
白神山地が世界遺産に登録されて25年が経過しました。それに基づいて「世界遺産登録25周年」として、取り組みました。「ブナのしおり」や「絵はがき」「木の実のキーホルダー」等を作成し活用しました。センターの今年度の活動を一部ですが紹介します。



4月25日(水)八峰町小入川国有林内でニホンジカの捕獲事業を開始するにあたりマスコミのプレス対応を行ないました。



4月27日(金)から11月26日(金)までセンサーカメラ30台の設置及びデータの回収を実施しました。



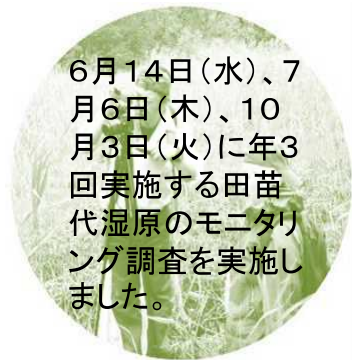
5月9日(火)大館市田代町の田代公民大学で「白神山地の概要」の出前講座を実施しました。



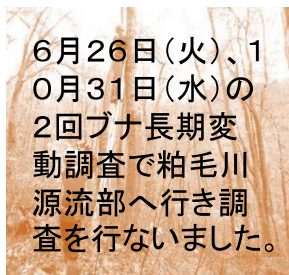
5月11日(木)岳岱多目的展示施設の開放を、6月5日(月)小岳巡視管理棟の開放を行いました。



藤里幼稚園の事前学習を6月7日(水)、ブナの森探検を6月8日(木)に岳岱で行いました。



6月14日(水)、7月6日(木)、10月3日(火)に年3回実施する田苗代湿原のモニタリング調査を実施しました。



6月26日(火)、10月31日(水)の2回ブナ長期変動調査で粕毛川源流部へ行き調査を行ないました。



7月6日(金)、田苗代湿原、岳岱方面の巡視を行いました。(16年ぶりに見事に開花したニッコウキスゲに感動しました。)



8月20日(月)、8月24日(金)獨協大学2年生と3年生が、岳岱で歩道修理及びウッドチップ舗装を実施しました。

9月12日(水)、白神山地世界遺産地域連絡会議が主催する二ツ森登山道の刈払を実施しました。



町道白神二ツ森線の補修工事が8月末で終わったためこの時期となりました。



9月12日(水)樺岱コースから途中倒木が数箇所ありましたが、藤里駒ヶ岳の巡視を実施しました。



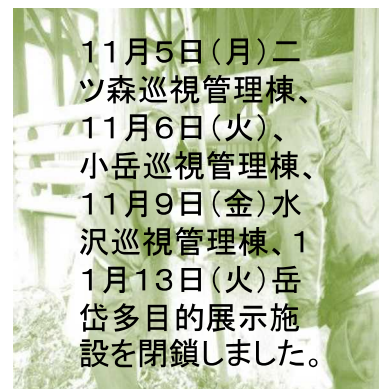
9月14日(金)県立二ツ井高校の植樹作業の指導と岳岱での自然観察会を行いました。



9月27日(木)毎年実施している小岳の「マツクロホシハバチ」の調査を行いました。



10月12日(金)、10月13日(土)秋の白神ウイークに合わせミス日本「みどりの女神」が1日局長で樺岱イベントと世界自然遺産シンポジウム等へ参加しました。



11月5日(月)二ツ森巡視管理棟、11月6日(火)、小岳巡視管理棟、11月9日(金)水沢巡視管理棟、11月13日(火)岳岱多目的展示施設を閉鎖しました。

こんなの作ってみました。



ブナの実

平成30年は秋田県ではブナの結実状況は「凶作」と発表されましたが、藤里町では「並作」でした。そこで7年ぶりでブナの実を集めました。

クマ等動物たちが食べる餌ですが、今回は「パウンドケーキ」に挑戦してみました。大変香ばしくて、ナッツを食べているようで大変おいしくいただきました。

作り方を紹介します。

材料

薄力粉 100g ベーキングパウダー 3g
無塩バター 100g 卵 2個
砂糖 80g バニラエッセンス 少量 ブナの実

作り方

- ① 最初に、堅い堅果から殻をむいて、中の渋皮をむき、ナッツにします。「そば」と同じような形50個程度むきます。(面倒ですね。なにか方法はないかな)。フライパンで少し煎って下さい。
- ②ボウルに無塩バターと上白糖を入れて、白っぽくなるまで混ぜ合わせます。
- ③溶き卵を3、4回に分けて入れます。その都度、よく混ぜ合わせます。
- ④③に薄力粉を粉ふるいで振りい入れます。ゴムベラで切るように混ぜ、粉っぽさがなくなるまで混ぜ合わせます。バニラエッセンスを入れます。また、ブナの実も20個ほど混ぜます。
- ⑤型に④を入れます。両端が高くなるように表面をならします。型を5cm程持ち上げて2～3回落とし、生地を抜きます。また、上の飾りとしてブナの実の残りをキレイに並べます。
- ⑥170℃のオーブンで火が通るまで40分焼きます。焼き始めて10分経ったら、一度取り出して、真ん中に切れ目を入れます。オーブンに戻し、再び焼きます。竹串を刺して、生地が付かなくなるまで、こんがり焼きます。
- ⑦粗熱が取れたら型から外して冷ましたら完成です。

マルバマンサク

マンサク科マンサク属

能代市二ツ井町県立公園「きみまち阪」を散歩中に黄色く咲いた可憐な花を見つけました。まだ、肌寒い時期ですが、春がまもなくやってきます。



北海道(奥尻島)、本州(東北地方～鳥取県の日本海側)に分布し、山地に生育します。葉は互生し、葉身は長さ6～9センチ、幅は5～8センチの倒卵円形です。上半部は半円形で、先端は円形またはややへこみます。裏面の脈腋以外は無毛、葉柄は長さ1～1.5センチです。

参考資料:山溪ハンディ図鑑4「樹に咲く花」

フクジュソウ

キンポウゲ科フクジュソウ属

藤里町を散歩していたら、春を告げるフクジュソウの花を見つけました。黄色くて可憐な花で、今年も長い冬から待ち遠しい春が来たことをうれしく感じました。



北海道、本州、四国、九州に分布しますが、西日本には少なく、おもに北国に多く山地に生育する多年草です。よく栽培もされています。花期が早いので正月用の鉢植えなどもよく見かけます。福寿草の名は新年を祝うめでたい名前です。高さ15～30cmになります。花は黄色で径4cm程です。花期は2月～4月です。

参考資料:山溪カラー名鑑「日本の野草」

編集後記

今年は、雪が多いという人と少ないという人がいます。全体的に考えて多く雪の降る日が長くなく、雪寄せが大変楽だった事です。また、2月中旬から春のような陽気に恵まれ、雪が日を追う毎に減ってきています。春が近くにやってきていることを感じます。

3月は別れの季節です。去る者、来る者、そして迎える者様々なドラマがありますが、今年度は3回の「白神通信」を発行出来ました。今後もよりよい企画をもって発行しますので、センター職員一同今後もよろしくお願いたします。

(M. H)